



宮田 勝美 議員



一問一答方式

**問**……………  
 前期、そして2期目の事業の内容と経過は。

**答(市長)**……………  
 平成17年に基本構想案を検討し、平成19年遠野市中心市街地活性化協議会を設立した。平成21年に第1期の認定を受け、平成21年から平成25年まで各事業を行った。第2期は、平成28年から令和2年までで、

**問**……………  
 2期目の計画の達成状況等の評価、又は反省点や課題は。

**答(市長)**……………  
 中心市街地に新規に出店した店舗数は目標を達成したが、中心市街地観光客入込数、中

**問**……………  
 3期目の認定について考えているか。

心市街地通行量は、新型コロナウイルスの影響もあり目標を達成できなかつた。昨年度実施した市民アンケートの結果でも、計画策定時より活性化の状況は悪化しているとの評価した人が半数いた。

**答(市長)**……………  
 中心市街地活性化事業の要件は、土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路等の公共施設の整備計画が必要要件となっている。今のところそのような計画が無いので計画認定を受けることができない。計画が無くても、現状に照らし合わせながら必要な課題解決を行っていく。



鍋倉公園から見た遠野市中心市街地

## 遠野市中心市街地活性化の取り組み内容は

### 市長 国の事業要件を満たさないで3期目の認定は考えてない

その事業内容は本庁舎整備事業、市道新穀町通り線整備事業、子育て支援環境整備事業等である。

## 遠野駅舎問題の現状を確認

**市長** 駅舎問題は遠野市だけでは結論を出すことはできない

**問**……………  
 遠野駅舎問題の経過、課題、今後は。

**答(市長)**……………  
 駅舎は東日本旅客鉄道株式会社の財産である。建て替えについては、いくつかの案を双方協議したが、同社からの回答は現在予算が無いと言われている。遠野市としても予算が無いので、現駅舎を残したい思いはあるが、安全性の確保もあるのが遠野市だけでは結論を出すことはできない。



小林 立栄 議員



一問一答方式

## 国の「出産・子育て応援交付金」、支援を充実させるチャンスでは

### 市長 声を聴き、必要な切れ目ない支援をしていく

**問**……………  
 妊娠・出産・子育て支援の充実を。

**答(市長)**……………  
 これまで以上にきめ細やかな配慮、気配りを考えていかなければならない。産前産後ケアセンターの今後の方向性や開設15周年を迎えた助産院の在り方も検討していく。

**問**……………  
 わらすっこ応援券の金額の増額、利用できるサービス内容の充実を図っては。

**答(市長)**……………  
 同感である。ハイリスク妊産婦の方が対象のサービスを通常の妊産婦の方にも拡充したり、妊娠・子育て関連用品の購入など、市内で様々な活用できるものにする等、検討していきたい。

**問**……………  
 高校入学時の学用品等の準備に多額の費用が必要となる。経済的負担軽減として、中学を卒業する世帯へ入学用品を購入できる応援商品券を配布しては。

**答(市長)**……………  
 提案について検討していく。

**問**……………  
 就学援助制度の newly



わらすっこ議会の一コマ 子ども・若者の声を各施策に反映させることが重要

その他の質問  
 ●ごみ・し尿収集運搬の物価高騰対策について

**答(教育長)**……………  
 就学援助の認定を満たしている保護者に一定額の補助をしている自治体があるが、義務教育と高等学校では所管が違うこともあり難しい。高校とも情報共有しながら必要と判断される場合には検討したい。

## DXによる遠野市の将来像は

**市長** いつでも、どこでも、みんなに優しい『市役所』『まち』

**問**……………  
 メタバースを積極的に活用しては。

**答(市長)**……………  
 最初は、観光部門で部分的に活用できる可能性がある。また、デジタル体験センター(仮称)で、メタバースなど身近にデジタルを体験できる機会を考えている。

**問**……………  
 産学官と地域が連携して課題を克服していくことが重要。マッチングや事業化・商品化への仕組み作りを。

**答(市長)**……………  
 有効であり、チャンスがあれば組んでいきたい。情報収集やアプローチが必要であり検討している。